

ロシア 東欧 経済速報

設 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (0351) 5215~9
ロシア東欧経済研究所 [購読料、送料共前納 1ヶ月-1,500円 1ヶ年-18,000円]

1997年(平成9年)3月15日 No.1051

目 次

1997年度ロシア連邦予算.....	服部倫卓	1
—審議難航のすえ成立した妥協予算—		
統計速報.....		6
1996年1~9月のロシアの国際収支/6		
データフラッシュ/7		
キーパーソン.....		7
チュバイス氏を第一副首相に起用/7		
CIS諸国通貨の最新為替レート.....		10

1997年度ロシア連邦予算 —審議難航のすえ成立した妥協予算—

はじめに ロシアのエリツィン大統領は2月26日、連邦下院、上院が採択していた1997年度連邦予算案に署名した。予算は3月4日付の「ロシア新聞」への掲載により発効した。

今回の速報では、ようやく成立した1997年度ロシア連邦予算を取り上げ、その成立までの経過と内容を紹介することにする。

予算成立の経緯 1996年度の連邦予算は、ロシアではじめて前年度内(1995年12月)に上下両院によって採択されたが、一転して1997年度予算は難産となった。ロシア下院は5カ月に渡る審議のすえ、ようやく今年に入って、1月24日に予算案を最終の第4読会で可決した。賛成245、反対90、棄権17という投票結果であった。

議会第一党の共産党が現実路線を打ち出したこともあって、下院側は今回の予算案審議に概ね建設的な対応をみせた。しかし、それだけに下院は政府による予算の執行状況を議会側が監視できるような体制を導入しようとし、これが審議の長期化につながったと言える。下院が政府予算案に加えた最大の修正が、歳出の執行停止メカニズムを従来よりも厳格にしたことであ